

桜環境新聞

インスタグラム講座

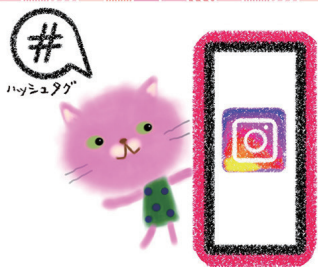
思いや活動を伝えるために

環境や自然に関心がある方、自分の思いや活動を上手に周りに伝えられていますか？ 6月17日(金)に、第1回団体活動支援講座と

してへ#ハッシュタグで広がるInstagram講座を開催します。

第1回 団体活動支援講座 ハッシュタグで広がるInstagram講座

6月17日(金)
13:30~15:30



思いを伝える手段として、さまざまなSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)がある中、Instagram(インスタ)は写真をメインに投稿するサービスです。どうやって投稿すればいいんだろう？「ハッシュタグ」って何？という方、インスタの基本を知って、情報発信に役立ててみませんか。

日時・6月17日(金) 13時半~15時半

対象・市内在住、在勤または在学の15歳以上で、環境・自然に関心のある人

申込み・6月5日(日)10時~10日(金)に電話で

第2回 団体活動支援講座

「いいね！」がもらえる文章&写真講座

7月15日(金)
13:30~15:30



048・710・5345までお申込みください(先着8名)。

7月15日(金)には、短く分かりやすい文章を書くコツや、「映える」写真を撮るコツを教える、第2回団体活動支援講座(「いいね！」がもらえる文章&写真講座)も開催します。

さいたま市 桜環境センター

〒338-0834 埼玉県さいたま市桜区新開4-2-1 (月曜休館)
【環境啓発施設】
Tel:048-710-5345
【余熱体験施設】
Tel:048-710-5344
【施設見学・持込・その他】
Tel:048-710-6010
【ホームページ】
<https://sakura-kc.saitama.jp/>



環境啓発施設 公式SNSアカウント



Facebook



Instagram

環境啓発施設 E-mail
sakura@com-sup.com

ごみ処理施設の見学に行ってみよう！

桜環境センターでは、ごみ処理施設(熱回収施設・リサイクルセンター)を見学できます。

スタッフと一緒に見学ルートに沿ってスタート。ごみ収集車が次々と来る資源物プラットホームのあとは、もえるごみのプラットホームを見学します。ごみを攪拌(かくはん)して運ぶクレーンを間近に見られて迫力満点。ごみを高温で溶かして、スラグとメタルにする溶融炉の説明を受け

たあとは、リサイクルセンターでは、手作業でビン・カンなどを仕分ける様子が見られます。自分たちが出したごみの行方、改めて見るといろいろな発見がありますよ。



リサイクルセンターのビンの仕分け。色で選別します



もえないごみ・粗大ごみの粉碎機

- 開始時刻:14時(月曜休館)
- 所要時間:60分程度
- 定員:5名程度(先着順)
- 費用:無料
- 申込み方法:開始時刻の30分前から1階窓口で受付(予約不可)。都合により中止、または開始時刻が変更になる場合があります。
- 問合せ:048・710・6010

余熱体験施設のレストランのみ利用の無料時間が

90分まで延長になりました! ※以降は入館料が発生します。

レストラン[菜土~sait~] 営業時間 ● 10:00~14:30 (ラストオーダー 14:15)

フードドライブ



ご家庭に余っている食品はありませんか？
フードパントリーにつなぎ、必要な方にお届けします！
※寄付の際は、事前に【048-710-5345】までご連絡ください。

蚕起食桑

「五月二十日頃」
かいこおきてくわをはむ

カイコの幼虫がもりもりクワの葉を食べる季節。約一カ月後に繭をつくり、この繭から絹糸が作られます。

街のクワの木にも、薄黄色の繭が見つかることがあります。これはクワコと言って、カイコの原種。ぜひ、探してみてください。

「ジーオそだて隊」 田んぼ始まりました



種まき作業

春になり、ビオトープ「ジーオ」の田んぼのあちこちで、さまざまなおトンボが飛び始めました。そんな中、4月29日(金・祝)

に、2022年度の「ジーオそだて隊」の活動第一弾として、「種まき」を行いました。今年は「神丹穂(かんにほ)」という赤米を使い、専用の容器に種をまきました。現在、「ジーオ」田んぼの苗代(なわしろ)で、順調に成長しています。5月11日(水)には、緑の葉っぱがちらちらと見えるようになり、6月5日(日)には、田植え作業を行います(要予約・受付は終了)。成長中のかわいいイネを見に、ぜひ「ジーオ」に遊びに来てください。当日参加できる活動は、

6月12日(日) 13時半〜14時半に、外来植物「ヒメジョオンを抜いちゃおう!」を行います(先着20名)。外来植物のひみつに迫る〇×クイズもありますよ。
●持ちもの:軍手、水筒、スタンプカード(2回目以降の方)
●服装:動きやすい長袖長ズボン、帽子



ヒメジョオン

桜環境センターの 利用団体紹介

浦和自然観察会

秋ヶ瀬公園がフィールド

浦和自然観察会は1996年から、桜区の秋ヶ瀬公園ピクニックの森を中心に活動しています。

前会長と初代会長が「秋ヶ瀬公園をフィールドにできる」と考え、大宮の自然観察会から独立し、創立しました。

自然を観察する楽しさ

現在、会員は38人。毎月

第2日曜の午前中に秋ヶ瀬公園、国の特別天然記念物・田島ヶ原サクラソウ自生地などで定例観察会を行うほか、子ども自然観察会や高原の自然観察会、研修懇親観察会、自然保護活動を開催しています。

会員の中心は50〜70代ですが、イベントへの参加をきっかけに、子育て世代の会員も増えてきています。



自然と人とふれあって

会では、自然を楽しみながら長く続けてほしいと、クラブト、ハイキング、家族連れで参加できる自然とのふれあい体験なども企画。会員の心身のリフレッシュに、ひいては環境保護につながれば、と考えています。

さいたまの自然を身近に感じ、リフレッシュしながら健康にも地球にもいい活動を、ぜひ体験してみてください。

浦和自然観察会を、より詳しく紹介しているHPはこちら。



知っているようで知らない 【ごみの正しい出し方】

布団&マットレス

布団をごみに出す時は、90cm未満になるように紐などでしばって「もえるごみ」の日に出してください。しばらくそのままだと、焼却炉の入口が狭いので入りません。

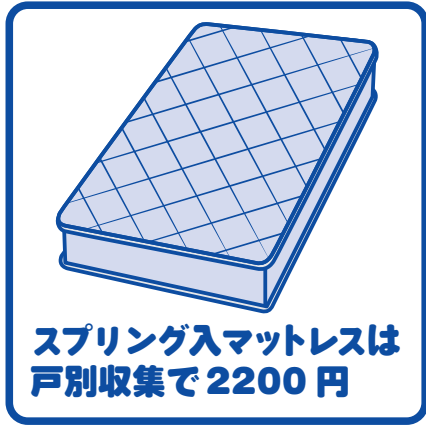
1回につき出せるのは1枚までで、2枚以上ある場合は、戸別収集の粗大ごみ(処理手数料1品550円)になります。



90cm 未満にしばり、
1回につき 1枚まで

スプリングなしのマットレスもしばって、90cm 未満の場合は「もえるごみ」、90cm 以上の場合は粗大ごみになります。スプリングの入ったマットレスは、粗大ごみの「特定適正処理困難物」となり、処理手数料は2200円となります。

粗大ごみの申込みは【048-878-0053】または、こちらへ➡



スプリング入マットレスは
戸別収集で2200円